

緊急リレートーク

ブラック・ライブズ・マター運動の背景と課題

米国から世界に拡大したブラック・ライブズ・マター運動は、その規模と社会的インパクトの点で60年前の公民権運動に匹敵すると言われており、人種問題の解決に向けて重要かつ新しい局面をもたらしつつある。日本のメディアでも連日取り上げられてはいるが、残念ながら専門的知識に基づく報道や評論は乏しく、最近のNHK番組のように黒人に対する偏見を露呈し、差別を助長するものさえある。

本リレートークは、アフリカ系アメリカ人研究や日本社会における黒人表象の研究、人種研究などに長年携わっている研究者が中心となり、それぞれの視点から、「ブラック・ライブズ・マター運動の背景と課題」についての解説と問題提起を行うものである。米国での黒人差別の歴史や現代の人種間格差、ブラック・ライブズ・マターの思想と実践、さらには日本社会における黒人に対する偏見・差別の歴史や現実が語られるであろう。リレートークの後には、会場からチャットで可能な限り質問を受け付け、意見交換も行う。

人種差別は、現代を生きるあらゆる人間が向き合うべき課題だとする見地に立ち、多様化する社会をいかに生き、行動すべきか、そのヒントをともに探りたい。

★日時：2020年6月21日（日）15:00-16:30（閉会）17:00（閉室）

★使用アプリ: Zoom（要事前登録：この文章の最後から登録可）

★使用言語：日本語

★対象：一般

★参加費：無料

☆司会：

竹沢泰子（京都大学）

☆パネリスト：

貴堂嘉之（一橋大学）、坂下史子（立命館大学）、藤永康政（日本女子大学）、
ジョン・G・ラッセル（岐阜大学）

☆コメンテーター：

有光道生（慶應義塾大学）、

キンバリー・サンダース（ハーヴァード大学大学院博士課程・早稲田大学研究員）

主催：京都大学人文科学研究所 <http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/>

慶應義塾アメリカ学会 <https://keioamsa.wixsite.com/mysite>

リレー・メニュー

1. 竹沢泰子（京都大学）

はじめに：趣旨説明

2. 貴堂嘉之（一橋大学）

「NHK『これでわかった！世界のいま』要望書騒動—日本での課題—」

3. 坂下史子（立命館大学）

「暴力と搾取の歴史—人種ステレオタイプの視点から」

4. 藤永康政（日本女子大学）

「リベラルたちの刑罰国家とBLMの挑戦」

5. ジョン・G・ラッセル（岐阜大学）

「他人事ではない～日本における黒人差別のリアリティ」

6. 有光道生（慶應義塾大学）、キンバリー・サンダース（ハーヴァード大学大学院博士課程・早稲田大学訪問研究員）：コメント

7. オーディエンスからチャット経由でのQ&A

8. 竹沢泰子：

閉会の辞：ここからどこへ向かうべきか？

登壇者の略歴

☆竹沢泰子：専門は文化人類学、アメリカ研究、人種主義研究。関連業績に竹沢泰子編集代表『シリーズ 人種神話を解体する』3巻（東京大学出版会、2016）。

「竹沢泰子研究室」HPにて、音声付きパワポ「警察による黒人の暴行死と「黒人の命を粗末に扱うな」運動を考える」を公開中。

☆貴堂嘉之：専門はアメリカ社会史、移民史。主著に『南北戦争の時代 19世紀』（岩波新書、2019）、『移民国家アメリカの歴史』（岩波新書、2018）。

☆坂下史子：専門はアメリカ研究、人種暴力の歴史と記憶の研究。関連業績に「人種暴力の記憶化と写真—『沈黙の行進』から『黒人の命も大切』運動へ」ウェルズ恵子編『ヴァナキュラー文化と現代社会』（思文閣出版、2018）、「人種的〈他者〉としての黒人性—アメリカの人種ステレオタイプを例に」兼子歩・貴堂嘉之編『「ヘイト」の時代のアメリカ史—人種・民族・国籍を考える』（彩流社、2017）。

☆藤永康政：専門は公民権／ブラックパワー運動史。関連業績に「黒人ラディカリズムの「68年」とブラックパワー運動」『思想』（岩波書店、2018年5月）、「アメリカ合衆国の人種主義的大量収監と21世紀の刑罰国家」『歴史学研究』（2019年9月）。

☆ジョン・G・ラッセル：専門は文化人類学、人種論。関連業績に『偏見と差別はどのようにつくられるか：黒人差別・反ユダヤ意識を中心に』（明石書店、1995）、「イミテーション・ゲーム:「トランスレイシャル」/「トランスジェンダー」の真正性と揺られる人種の境界線」『中部哲学会年報』50（2019）。

☆有光道生：専門はアメリカ文学、アフリカ系アメリカ人研究、冷戦期の日本における黒人文化の受容。関連業績に、「ブラックネスのゆくえ：オバマ政権下のアメリカ社会とヒップホップ」長谷川町蔵、大和田俊之著『文化系のためのヒップホップ入門3』（アルテスパブリッシング、2019年）、「特集トニ・モリスン：ストレンジャーとの戯れ」、『ユリイカ』（青土社、2019年）

☆キンバリー・サンダース：専門は日本研究、メディア研究、音響研究。日米を往復しながら、「Intimate Listening: Tuning into the Voices of 20th and 21st Century Japan」と題した博士論文を執筆中。

Zoomウェビナー事前登録フォーム

開催時刻：2020年6月21日（日） 15:00-16:30 大阪、札幌、東京
 トピック：緊急リレー・トーク：ブラック・ライブズ・マター運動の背景と課題


このウェビナーに事前登録する：
https://keio-univ.zoom.us/webinar/register/WN_Z6nDySh0TOCPnH8TROiY3w

ご登録後、ウェビナー参加に関する確認メールが届きます。



写真：ミネソタ大学大学院歴史学研究科博士課程の吉田晋也氏より提供

lizzobeating



BREONNA TAYLOR
 June 5, 1993 - March 13, 2020

1. Call these numbers TODAY.
 Governor Beshear's office: (502) 564-2611
 District Attorney Tom Wine: (502) 595-2300
 Attorney General Daniel Cameron: (502) 696-5300
 Senator Rand Paul: (202) 224-4343 / (270) 782-8303
 Representative John Yarmuth: (202) 225-5401
 Kentucky Senators General Hotline: 1-800-372-7181

2. & say this when you call
 I am calling on behalf of Breonna Taylor. We demand that John Mattingly, Detective Brett Hankison, and Detective Myles Cosgrove are fired immediately and charged with manslaughter and negligence. We demand that a special prosecutor be appointed to investigate the Louisville Police Department immediately. We demand that a special session be convened to ban no-knock warrants immediately. We demand justice for Breonna Taylor. You cannot shoot an innocent civilian and call it a "clerical error" -- we will not have it.

3. Use social media.
 Starting Friday June 5th at 10am TWEET AT @GovAndyBeshear, @djaycameron, @danielcameronag, @repjohnyarmuth, @RandPaul and @senatemajldr & demand justice for Breonna.

30,802 likes

lizzobeating Today would've been #breonnataylor birthday. She should be here. Instead she was murdered by police in what they're calling a "clerical error". They barged into her home without knocking and shot her in her sleep. She worked for us during the covid pandemic, she was an innocent civilian. SAY HER NAME. DEMAND JUSTICE ON HER BIRTHDAY. NO ARRESTS HAVE BEEN MADE. @govandybeshear @senatemajldr @drandpaul @danieljaycameron MAKE THIS RIGHT. Post by @ju.niyah

